

# 神戈陵を渡る風3

令和5年度 川辺高校 校長通信 第137号(通算)

令和6年2月2日(金)発行

2月になりました。旧暦では、2月のことを如月(きらぎ)と言います。この名前の由来は、寒さで衣を更に重ねて着ることから「衣更着(きらぎ)」とする説で、「着更着(きらぎ)」「絹更着(きらぎ)」と書く説もあるそうです。その他には、草木が生えはじめる月なので、「気更木(きらぎ)」とする説などがあります。

「如月」という漢字は、中国の2月の月名に由来します。中国最古の辞書『爾雅(じが)』に「二月を如となす」とあり、厳しい冬が終わり春に向かって万物が動き出す時季という意味が込められています。(WEBページの記事より)



県庁18階展望ロビーに掲載

## 美術作品展示中

令和6年1月17日(水)

川辺高校郵便局に書道作品に引き続き、美術部の生徒による絵画等の作品が展示されています。地元のギャラリーに生徒の作品があることはとても素晴らしいことだと思います。



## μ F M 取材

令和6年1月15日(月)

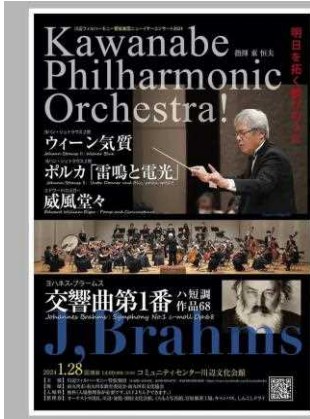


昨年夏の【教室断熱改修】の取組みが高校生のSDGsの活動として、μFM(エフエム鹿児島)のファースト・ステップという番組(毎週金曜日15:30~15:45)で紹介されました。校長室で番組利用する音声(会話)を収録していました。その時の様子を写真で紹介します。取材を受けたのは、1年生の上東來煌さんと鮫島優斗さんで、実際に、放送されたのは、1月19と26日の金曜日でした。



## 川辺フィルハーモニー管弦楽団ニューイヤークンサート

令和6年1月28日(日)



朝方は大雨でしたが、川辺文化会館で約500人の聴衆を集めて川辺フィルのニューイヤークンサートが今年も開催され、聞きに行ってきました。今回のメインプログラムはブラームスの交響曲第一番でした。

冒頭のティンパニの連打は、印象的な始まり方で、「のだめカンタービレ」でも取り上げられていたもので、曲名は知らなくても聞いたことあるという人も多いと思います。川辺高校の管弦楽部を起源として結成されたオーケストラです。わが町大切な財産として、これからも応援したいものです。



## 南九州市企業合同説明会

令和6年1月29日(月)

この日、川辺高校、薩南工業高校と穎娃高校の生徒を対象とした南九州市にある企業の合同説明会がありました。本校生にとっても、地元の企業を知ることは大切なことです。郷土を知り、郷土に学び、郷土に生きる若者に成長してもらいたいものです。



## 全校朝礼校長講話

令和6年1月29日(月)

この日は、全校生徒がそろった最後の全校朝礼となりました。生徒の表彰に引き続き、校長講話を行いました。今回の講話では『正しく反省することとは?』について語ります。先ず紹介するのは、パナソニック(松下電器産業)の創設者である松下幸之助さんの言葉です。



誰でもそうやけど、  
反省する人は、きっと成功するな。  
本当に正しく反省する。  
そうすると次に何をすべきか、  
何をしたらいいかということ  
きちんとかんがえるからな。  
それで成長していくわけや、人間として

ある御法話の中で、仏陀の教えとして、お釈尊様は失敗を未来に活かしていくための正しい反省方法である『四正勤』を説かれてると聞きました。それは、

- ①「既に生じた悪(失敗)を除く」ように勤める
- ②「新たな悪(失敗)を生じない」ように勤める
- ③「新たな善(成功)を生じる」ように勤める
- ④「既に生じた善(成功)を増す」ように勤める

この4項目を瞑想で深い気づき(sati)によって、具体的に生じた悪(失敗)、新たな悪(失敗)、生じた善(成功)、新たな善(成功)を見極めます。四正勤によって得た結果を強い決意で実践し勤めます。そして、今に最善をつくして生きること、未来の礎を築くのです。

こうして、失敗は**未来の成功の礎**になるという『正しい反省』が実践できるようになります。

